

08. 揺れている最中、「買え」「買え」と叫ぶトレーダーたち

佐藤真理子 32歳 会社員 港区赤坂在住

- どこに誰といましたか。そのときの職場は？

六本木ヒルズのオフィス棟 32階にいました。証券会社のこのフロアには、ざっと100人ほどが働いています。建物は耐震と免震の組み合わせのため、地震のときは回るように揺れます。ちょうど、株式市場の後場取引が終わる前。地震の発生とともに相場が暴落したので、揺れている間もトレーダーたちは、「買え」「買え」とどよめき立ちました。みしみしと音がしていましたが、皆、比較的冷静でした。あまりにも余震が続くので、モニターをNHKに切り替え、東北方面の大地震であることを知りました。

職場にはヘルメットと非常袋が備えてあったので、ヘルメットを被り、防災センターからの指示に従いました。そのうち台場方面の火事が見え、総務が防火扉を閉めたので、階段が空いているうちにといい荷物をもとめ、おいてある平らな靴に履き替え、ヘルメットを被って下に降りました。地震発生から1時間くらい後です。そのうち、防災センターからは、避難するな、と指示が出たそうです、外の方が危ないから。下ではヘルメットを被った人が増えてきましたが、商業施設は17時ごろ閉館しました。携帯が繋がらなかったので受付の固定電話で上司にかけたら、帰っていいということだったので後輩と出ました。自宅は徒歩圏なので、17時30分ごろには着きました。

- 自宅に帰ってからどうしましたか。

自宅は、鉄骨30階建マンションの3階です。夫が留守で1人だと怖いので1人住まいの後輩に来てもらったのですが、自宅は平穩で2人でテレビを見ていました。そのあと、別の会社の友人たちが来て、総勢6人で夜を過ごしました。コンビニなど開いているところもあり、飲食物は間に合いました。建物も室内も、異常は全くありませんでした。会社では、帰宅できない女性にはホテルを用意し、朝までいた者にはタクシーで帰るようにしたとか。

- 最後にひとこと。

歩いて帰れたのでラクでした。会社はヘルメットや非常袋を備え、建物も安全にできているので安心でした。自宅も安全ですが、友人たちに来てもらってよかったです。

2011年6月19日